

登録番号	演題番号	セッション名	セッションテーマ	日にち	時間	会場	発表	質疑	総合討 論	演題名
10000	R1-1	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指してー評価法とアウトカム指標の再構築ー・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	胃切除後障害の早期評価指標としてのドレーンアミラーゼ測定の意味
10001	R5-2	要望演題5	胃切除後再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	食道胃接合部癌における胸腔鏡下再建術～ダブルフラップ法からトンネル法再建へ～
10002	R3-5	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開ーロボット多機種時代における現状と未来ー	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	ロボット支援下胃切除における多機種運用の初期経験と今後の課題ー手技移行における課題と独自手法の確立に向けて-
10003	R1-2	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指してー評価法とアウトカム指標の再構築ー・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	腹腔鏡下/ロボット支援下胃切除施行したStage I胃癌におけるTextbook Outcomeの臨床的意義の検討
10004	SY3-1	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	当科における腹腔鏡補助下噴門側胃切除における再建の工夫：台形トンネル法
10005	SY2-6	シンポジウム2	高度進行胃癌に対する治療戦略②	11月12日(木)	14:45～15:45	第1会場	7分	3分	－	胃癌のconversion surgeryにおける手術タイミング決定のための腫瘍マーカーの意義
10006	SY1-3	シンポジウム1	高度進行胃癌に対する治療戦略①	11月12日(木)	13:55～14:45	第1会場	7分	3分	－	進行胃癌における審査腹腔鏡の適応評価と腹膜病変予測スコアの開発
10007	SY4-1	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	機能温存手術のゴールーセンチネルリンパ節生検誘導胃切除の最適解は、局所切除か分節切除か？
10008	R5-1	要望演題5	胃切除再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	胃十二指腸デルタ吻合におけるダンピング、逆流性食道炎軽減の工夫
10009	R7-3	要望演題7	肥満手術の現状と課題	11月13日(金)	16:10～16:50	第2会場	6分	2分	－	当院における肥満手術導入の現状と課題-腹腔鏡下スリーブ状胃切除術導入初期症例の検討-
10010	SY6-3	シンポジウム6	術後障害対策あらためて考える②	11月13日(金)	14:20～15:00	第1会場	7分	3分	－	胃癌術後中長期にわたる栄養障害の時系列変化と手術関連リスク因子
10011	SRD-1	特別セッション： 管理栄養士セッション	胃外科術後を支える栄養管理ー管理栄養士からの提言ー	11月13日(金)	13:20～14:10	第2会場	6分	2分	－	胃切除術後長期の体組成および栄養摂取状況の実態
10012	R5-6	要望演題5	胃切除再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	胃全摘後の体重減少・QOL低下軽減を目指した逆I型空腸パウチ再建ー手技と初期成績ー
10013	R1-3	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指してー評価法とアウトカム指標の再構築ー・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	胃癌・全摘患者の術後栄養障害の病態把握と周術期管理の最適化：短期・長期予後を改善する在宅夜間経腸栄養療法のインパクト
10014	SY5-1	シンポジウム5	術後障害対策あらためて考える①	11月13日(金)	11:20～12:10	第1会場	7分	3分	－	低侵襲幽門側胃切除術における術後肺炎に対するHill分類の臨床的意義
10015	O5-1	一般演題5	術後合併症の予測と管理・対策	11月12日(木)	14:35～15:15	第3会場	4分	2分	－	食道胃接合部癌に対する食道胃管吻合後の難治性アルカリ逆流性食道炎に対し腹腔鏡下 Roux-en-Y conversionが奏功した1例
10016	R1-4	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指してー評価法とアウトカム指標の再構築ー・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	胃癌手術の周術期管理を最適化する術前Prehabilitationの実践ー何を優先すべきかー
10017	R7-2	要望演題7	肥満手術の現状と課題	11月13日(金)	16:10～16:50	第2会場	6分	2分	－	手術・高用量セマグルチド・行動療法における減量の質と代謝改善効果の比較
10018	SY2-2	シンポジウム2	高度進行胃癌に対する治療戦略②	11月12日(木)	14:45～15:45	第1会場	7分	3分	－	切除不能進行胃癌のconversion surgeryに対する当院の治療戦略
10019	SY5-2	シンポジウム5	術後障害対策あらためて考える①	11月13日(金)	11:20～12:10	第1会場	7分	3分	－	胃切除後患者における血糖変動と睡眠構造との関連-CGMと在宅睡眠脳波による検討-
10020	SY2-1	シンポジウム2	高度進行胃癌に対する治療戦略②	11月12日(木)	14:45～15:45	第1会場	7分	3分	－	CEA の変化がConversion手術後の病理学的治療効果と再発に与える影響の検討
10021	SY3-2	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	噴門側胃切除後食道胃吻合部：EG-PRIME法における逆流防止機構の再建：24時間pHモニタリングと食道内圧測定による評価と術後逆流性食道炎の長期成績
10022	R6-1	要望演題6	高齢胃癌患者における治療戦略②	11月13日(金)	16:10～16:50	第1会場	6分	2分	－	超高齢胃癌切除症例における術前食事介助の有無は術後生命予後の予測因子となり得るか？
10023	SY5-3	シンポジウム5	術後障害対策あらためて考える①	11月13日(金)	11:20～12:10	第1会場	7分	3分	－	持続グルコースモニタリングが明らかにした胃切除後血糖トレンドの時期別変遷と血糖・栄養管理への示唆

登録番号	演題番号	セッション名	セッションテーマ	日にち	時間	会場	発表	質疑	総合討 論	演題名
10024	O6-7	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	胃全摘後10年の経過で経口摂取量が徐々に減少しPTEG在宅栄養管理中の1例
10025	R4-1	要望演題4	高齢胃癌患者における治療戦略①	11月13日(金)	10:00～10:50	第2会場	6分	2分	－	80歳以上胃癌患者に対する低侵襲手術の安全性と治療戦略
10026	R3-1	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開 ―ロボット多機種時代における現状と未来―	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	胃癌に対するhinotori導入初期成績―安全な運用のためのピットフォールと工夫―
10027	O6-3	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	胃全摘後の高度低栄養に対し、患者に寄り添う長期的支援が奏効した1例
10028	PGSAS1	第11回PGSAS勉強会	PGSASを用いた高感度調査―どこまで使える？	11月13日(金)	13:20～14:20	第1会場	6分	2分	20分	ロボット支援噴門側胃切除術におけるCircular staplerを用いたダブルフラップ法再建
10029	SY6-2	シンポジウム6	術後障害対策あらためて考える②	11月13日(金)	14:20～15:00	第1会場	7分	3分	－	右側横行結腸間膜と臍前面の癒合と腹腔内感染性合併症の関係
10030	R4-2	要望演題4	高齢胃癌患者における治療戦略①	11月13日(金)	10:00～10:50	第2会場	6分	2分	－	80歳以上高齢胃癌手術例における治療選択と短期成績
10031	R2-4	要望演題2	高難度胃癌に対するロボット手術の真価	11月12日(木)	12:00～12:50	第1会場	6分	2分	－	肥満症例の胃癌に対するロボット支援下幽門側胃切除の有用性
10032	O4-1	一般演題4	高齢者胃癌・低栄養・予後予測	11月12日(木)	13:55～14:35	第3会場	4分	2分	－	高齢胃癌切除患者の長期予後におけるGLIM低栄養と3次元腰筋体積指数の意義
10033	R2-6	要望演題2	高難度胃癌に対するロボット手術の真価	11月12日(木)	12:00～12:50	第1会場	6分	2分	－	ロボット支援食道空腸吻合におけるロボットステープラーの有用性とピットホール
10034	SY3-3	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	胃上部・接合部癌に対する根治性・安全性・QOL維持のための噴門側胃切除の創意工夫：Non-Flap法とSMART法の開発と短期・長期成績
10035	SY5-4	シンポジウム5	術後障害対策あらためて考える①	11月13日(金)	11:20～12:10	第1会場	7分	3分	－	胃癌術後障害対策におけるトータルケアの重要性：術前リスク評価から抗炎症対策、低侵襲手術、在宅夜間経腸栄養の創意工夫
10036	O4-2	一般演題4	高齢者胃癌・低栄養・予後予測	11月12日(木)	13:55～14:35	第3会場	4分	2分	－	高齢者胃癌手術症例における術後合併症独立危険因子の検討
10037	SY5-5	シンポジウム5	術後障害対策あらためて考える①	11月13日(金)	11:20～12:10	第1会場	7分	3分	－	術後障害対策としての周術期リハビリテーション介入による血中microRNA濃度変化を介した抗腫瘍効果に関する検討
10038	R6-2	要望演題6	高齢胃癌患者における治療戦略②	11月13日(金)	16:10～16:50	第1会場	6分	2分	－	高齢胃癌患者への新たな治療戦略：性差と術前血清性ホルモン値に基づく術後合併症・予後リスクの層別化
10039	SY4-2	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	噴門側胃切除後の再建方法の違いは残胃排出能に影響を与えるか？ -シンチグラフィーによる残胃運動機能評価-
10040	R2-2	要望演題2	高難度胃癌に対するロボット手術の真価	11月12日(木)	12:00～12:50	第1会場	6分	2分	－	高難度胃癌に対するロボット手術の真価：T4胃癌の短期・長期成績におけるロボット支援手術の有用性
10041	O1-1	一般演題1	ロボット支援手術（導入・アプローチ・成績）	11月12日(木)	11:00～11:30	第3会場	4分	2分	－	ロボット支援下噴門側胃切除における小弯先行アプローチの有用性
10042	O1-2	一般演題1	ロボット支援手術（導入・アプローチ・成績）	11月12日(木)	11:00～11:30	第3会場	4分	2分	－	胃癌手術におけるロボット支援手術の長期予後の検討
10043	O7-6	一般演題7	再建法と吻合技術の工夫	11月12日(木)	17:05～17:45	第2会場	4分	2分	－	ロボット支援下幽門側胃切除術におけるBraun吻合を付加しないBillroth II再建の短期成績と術後体重減少の検討
10044	R5-7	要望演題5	胃切除後再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	高齢化社会での胃切除再建の最適解：進行胃癌におけるロボット支援幽門側胃切除後Billroth II法再建の有用性
10045	R2-5	要望演題2	高難度胃癌に対するロボット手術の真価	11月12日(木)	12:00～12:50	第1会場	6分	2分	－	「Bulky N」胃癌症例に対するロボットと腹腔鏡のHybrid手術の定型化とその有用性
10046	R4-3	要望演題4	高齢胃癌患者における治療戦略①	11月13日(金)	10:00～10:50	第2会場	6分	2分	－	高齢者胃癌の術後1年生存に関連する予測因子の検討
10047	SY3-4	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	当科における噴門側胃切除術後、ダブルトラクト再建の工夫

登録番号	演題番号	セッション名	セッションテーマ	日にち	時間	会場	発表	質疑	総合討 論	演題名
10048	SRD-4	特別セッション： 管理栄養士セッション	胃外科術後を支える栄養管理—管理栄養士からの提言—	11月13日(金)	13:20～14:10	第2会場	6分	2分	－	【演題名】胃全摘術後の後期ダンピング症候群に対して食事調整とCGMが有用であった1例
10049	O3-1	一般演題3	高度進行胃癌・化学療法・コンバージョン	11月12日(木)	12:00～12:30	第3会場	4分	2分	－	Type4胃癌における腹膜播種および胃切除後予後の予測因子の検討
10050	SY4-3	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	胃を最大限に温存するロボット支援下胃局所切除併用定型的リンパ節郭清術（GLAND）の技術的工夫と今後の展望
10051	O5-2	一般演題5	術後合併症の予測と管理・対策	11月12日(木)	14:35～15:15	第3会場	4分	2分	－	胃切除後の浮腫性吻合部狭窄に対してステロイド全身投与が奏効した1例
10052	R6-3	要望演題6	高齢胃癌患者における治療戦略②	11月13日(金)	16:10～16:50	第1会場	6分	2分	－	高齢胃癌患者に対する栄養指導とリハビリテーションを組み合わせた術後継続介入の有用性
10053	R4-4	要望演題4	高齢胃癌患者における治療戦略①	11月13日(金)	10:00～10:50	第2会場	6分	2分	－	超高齢患者に対する胃癌治療の実情
10054	O1-5	一般演題1	ロボット支援手術（導入・アプローチ・成績）	11月12日(木)	11:00～11:30	第3会場	4分	2分	－	GPS高値の低栄養・全身炎症状態の胃癌患者におけるロボット支援下胃切除術の短期成績と侵襲軽減効果
10055	SY1-4	シンポジウム1	高度進行胃癌に対する治療戦略①	11月12日(木)	13:55～14:45	第1会場	7分	3分	－	高度進行胃癌に対するロボット支援手術の真価：高精度低侵襲手術を長期予後へとつなぐ術後回復経路と腫瘍制御経路の重要性
10056	R4-5	要望演題4	高齢胃癌患者における治療戦略①	11月13日(金)	10:00～10:50	第2会場	6分	2分	－	高齢胃癌患者に対する胃切除術の評価
10057	SY4-4	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	機能温存を目指したロボット支援幽門保存胃切除術～自律神経温存の工夫と腔内胃吻合Pierce-Hybrid法の導入～
10058	SRD-5	特別セッション： 管理栄養士セッション	胃外科術後を支える栄養管理—管理栄養士からの提言—	11月13日(金)	13:20～14:10	第2会場	6分	2分	－	胃切除後患者における位相角とタンパク質充足率との関連—術後6か月の栄養状態の検討—
10059	PGSAS2	第11回PGSAS勉強会	PGSASを用いた高感度調査—どこまで使える？	11月13日(金)	13:20～14:20	第1会場	6分	2分	20分	胃切除術前後の血中胆汁酸値とPostgastrectomy Syndrome Assessment Scale (PGSAS)の関連の検討
10060	O8-3	一般演題8	周術期栄養管理・QOL評価	11月12日(木)	17:05～17:45	第3会場	4分	2分	－	幽門側胃切除術後1か月の主食摂取状況とその後の体重減少との関連
10061	O3-2	一般演題3	高度進行胃癌・化学療法・コンバージョン	11月12日(木)	12:00～12:30	第3会場	4分	2分	－	SOX＋Nivolumab療法後にconversion手術を施行したStage IV胃癌に対するirAEと術中所見を含めた検討
10062	O2-1	一般演題2	残胃癌・GIST・特殊手術	11月12日(木)	11:30～12:00	第3会場	4分	2分	－	イマチニブ抵抗性胃GISTに対するホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の検討
10063	R3-2	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開—ロボット多機種時代における現状と未来—	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	hinotori胃癌手術導入初期における安全な術野展開の工夫—コンソール術者と術野助手の協調—
10064	O6-1	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	胃癌ロボット支援手術における医学生第二助手参加の安全性と教育的意義
10065	R5-5	要望演題5	胃切除後再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	鏡視下胃全摘術におけるT吻合を用いた食道空腸再建の手法と短期成績
10066	O8-4	一般演題8	周術期栄養管理・QOL評価	11月12日(木)	17:05～17:45	第3会場	4分	2分	－	腹腔鏡補助下幽門保存胃切除術後の栄養状態に関する検討
10067	R2-1	要望演題2	高難度胃癌に対するロボット手術の真価	11月12日(木)	12:00～12:50	第1会場	6分	2分	－	臍頭十二指腸切除術後の高度癒着例に対するdaVinci-SPを用いた残胃全摘術
10068	R1-7	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指して—評価法とアウトカム指標の再構築—・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	胃癌術後合併症予測におけるNSQIP Surgical Risk Calculatorの有用性
10069	O8-2	一般演題8	周術期栄養管理・QOL評価	11月12日(木)	17:05～17:45	第3会場	4分	2分	－	胃垂全摘術の術後栄養における有用性の検討
10070	O3-3	一般演題3	高度進行胃癌・化学療法・コンバージョン	11月12日(木)	12:00～12:30	第3会場	4分	2分	－	当院におけるcT4b胃癌の治療成績の検討
10071	SY2-3	シンポジウム2	高度進行胃癌に対する治療戦略②	11月12日(木)	14:45～15:45	第1会場	7分	3分	－	ICI時代に期待されるrobotic conversion surgeryの役割

登録番号	演題番号	セッション名	セッションテーマ	日にち	時間	会場	発表	質疑	総合討 論	演題名
10072	SY3-5	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	術後体重減少を抑制するための噴門側胃切除術後double tract再建の工夫：NI-shaped anastomosis
10073	SY1-5	シンポジウム1	高度進行胃癌に対する治療戦略①	11月12日(木)	13:55～14:45	第1会場	7分	3分	－	胃癌患者における周術期の筋肉量減少を見越した介入対象の同定：多施設共同後ろ向きコホート研究によるプレ筋肉量低下のカットオフ値算出
10074	R6-4	要望演題6	高齢胃癌患者における治療戦略②	11月13日(金)	16:10～16:50	第1会場	6分	2分	－	80歳以上の高齢者胃癌患者におけるS-1術後補助化学療法の有用性：多施設共同後方視的研究
10075	R3-6	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開 ―ロボット多機種時代における現状と未来―	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	助手型手術支援ロボットANSURの段階的導入―胃局所切除から幽門側胃切除への展開―
10076	SY1-1	シンポジウム1	高度進行胃癌に対する治療戦略①	11月12日(木)	13:55～14:45	第1会場	7分	3分	－	多様化する高度進行胃癌に対する治療戦略を考える
10077	O7-1	一般演題7	再建法と吻合技術の工夫	11月12日(木)	17:05～17:45	第2会場	4分	2分	－	噴門側胃切除術の再建における胃食道逆流防止機構の有無が術後体重減少に与える影響の検討
10078	SY4-5	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	胃上部早期胃癌に対する噴門保存胃切除術（CPG）の短期成績と新たな展開
10079	O5-6	一般演題5	術後合併症の予測と管理・対策	11月12日(木)	14:35～15:15	第3会場	4分	2分	－	胃切除後腹腔内液体貯留に対するIVRを用いたドレナージ
10080	R5-3	要望演題5	胃切除再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	鏡視下噴門側胃切除後の再建方法と吻合関連合併症
10081	O6-2	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	当科における若手医師、看護師、学生に対する胃外科の教育法「Realtime Power Point供覧法」
10082	O1-3	一般演題1	ロボット支援手術（導入・アプローチ・成績）	11月12日(木)	11:00～11:30	第3会場	4分	2分	－	単施設でのロボット支援下噴門側胃切除術と腹腔鏡下噴門側胃切除術の短期・中期成績
10083	SY3-6	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	これから求められる噴門側胃切除後の再建法―食道残胃デルタ吻合（EG-delta）の手技と成績
10084	R6-5	要望演題6	高齢胃癌患者における治療戦略②	11月13日(金)	16:10～16:50	第1会場	6分	2分	－	高齢胃癌患者の外科的治療戦略：トータルケアを重視した治療の創意工夫
10085	O6-4	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	十二指腸水平脚狭窄に対し腹腔鏡下十二指腸空腸バイパス術を施行し良好な経過を得た1例
10086	O7-2	一般演題7	再建法と吻合技術の工夫	11月12日(木)	17:05～17:45	第2会場	4分	2分	－	噴門側胃切除術後の再建方法と吻合部関連合併症に関する検討
10087	R4-6	要望演題4	高齢胃癌患者における治療戦略①	11月13日(金)	10:00～10:50	第2会場	6分	2分	－	80歳以上の高齢胃癌患者に対する術式選択
10088	O2-2	一般演題2	残胃癌・GIST・特殊手術	11月12日(木)	11:30～12:00	第3会場	4分	2分	－	残胃癌に対するロボット支援下手術の手技の工夫
10089	R3-4	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開 ―ロボット多機種時代における現状と未来―	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	MILAR法によるda Vinci SPを用いたロボット支援下胃切除の導入
10090	O2-3	一般演題2	残胃癌・GIST・特殊手術	11月12日(木)	11:30～12:00	第3会場	4分	2分	－	胃GISTに対する腹腔鏡下胃内手術の手技と治療成績
10091	O3-4	一般演題3	高度進行胃癌・化学療法・コンバージョン	11月12日(木)	12:00～12:30	第3会場	4分	2分	－	胃癌患者へのコンバージョン手術の至適施行時期と化学療法前StageIV因子数の重要性
10092	R2-3	要望演題2	高難度胃癌に対するロボット手術の真価	11月12日(木)	12:00～12:50	第1会場	6分	2分	－	術前化学療法後のcStage II/III胃癌に対するロボット支援胃切除術
10093	R7-1	要望演題7	肥満手術の現状と課題	11月13日(金)	16:10～16:50	第2会場	6分	2分	－	「スリーブ・プラス」はわが国の減量・代謝改善手術をどう変えるか？―Sleeve gastrectomy with Transit Bipartitionの導入と短期成績―
10094	SY3-7	シンポジウム3	これから求められる機能温存胃切除①	11月13日(金)	9:00～10:10	第1会場	7分	3分	－	ロボット時代に再考する食道胃接合部癌に対する機能温存胃切除 ―縦隔内操作の定型化と観音開き法再建―
10095	O5-3	一般演題5	術後合併症の予測と管理・対策	11月12日(木)	14:35～15:15	第3会場	4分	2分	－	胃切除後脾液瘻の現状とドレーンアミラーゼ値に基づく重症脾液瘻予測因子の検討

登録番号	演題番号	セッション名	セッションテーマ	日にち	時間	会場	発表	質疑	総合討 論	演題名
10096	SY1-2	シンポジウム1	高度進行胃癌に対する治療戦略①	11月12日(木)	13:55～14:45	第1会場	7分	3分	－	上部進行胃癌における鏡視下脾温存脾門リンパ郭清の治療成績
10097	SY4-6	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	化学療法後に機能温存胃切除を施行した進行胃癌の治療成績
10098	O8-5	一般演題8	周術期栄養管理・QOL評価	11月12日(木)	17:05～17:45	第3会場	4分	2分	－	胃切除後合併症におけるPTEGの有用性
10099	SY2-4	シンポジウム2	高度進行胃癌に対する治療戦略②	11月12日(木)	14:45～15:45	第1会場	7分	3分	－	StageIVB胃癌に対するconversion surgeryにおける長期予後の検討
10100	SY4-7	シンポジウム4	これから求められる機能温存胃切除②	11月13日(金)	10:10～11:20	第1会場	7分	3分	－	プロシージャ－・パフォーマンス・マトリックスによる機能温存胃切除の有効性と手技的負担の可視化 －課題の明確化と克服に向けた取り組み－
10101	PGSAS3	第11回PGSAS勉強会	PGSASを用いた高感度調査－どこまで使える？	11月13日(金)	13:20～14:20	第1会場	6分	2分	20分	胃切除術式別にみた術後症状の特徴と生活・QOLへの影響－PGSASスタディの事後解析から－
10102	O8-1	一般演題8	周術期栄養管理・QOL評価	11月12日(木)	17:05～17:45	第3会場	4分	2分	－	早期胃癌治療後の長期予後－ESDと胃切除および胃切除術式別の検討－
10103	O7-3	一般演題7	再建法と吻合技術の工夫	11月12日(木)	17:05～17:45	第2会場	4分	2分	－	短期・長期成績とも安定した低侵襲幽門側胃切除術後デルタ吻合を用いたBillroth-I法
10104	R1-8	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指して－評価法とアウトカム指標の再構築－・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	継続的個別栄養指導による胃切除後体重減少への影響
10105	O3-5	一般演題3	高度進行胃癌・化学療法・コンバージョン	11月12日(木)	12:00～12:30	第3会場	4分	2分	－	術前化学療法施行胃癌に対するロボット支援下胃切除術の短期成績と周術期治療
10106	R5-4	要望演題5	胃切後再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	噴門側胃切除術における再建の工夫と治療成績
10108	R3-3	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開－ロボット多機種時代における現状と未来－	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	hinotor TM サージカルロボットシステムを使用した胃癌に対する幽門側胃切除術の安全性に関する臨床的検討
10109	O4-3	一般演題4	高齢者胃癌・低栄養・予後予測	11月12日(木)	13:55～14:35	第3会場	4分	2分	－	85歳以上胃癌手術症例における短期成績と術後体重・栄養指標の推移
10110	O2-4	一般演題2	残胃癌・GIST・特殊手術	11月12日(木)	11:30～12:00	第3会場	4分	2分	－	残胃癌に対する残胃亜全摘術の短期成績
10111	SY2-5	シンポジウム2	高度進行胃癌に対する治療戦略②	11月12日(木)	14:45～15:45	第1会場	7分	3分	－	cStage IVb胃癌に対する化学療法後のconversion手術の治療成績
10112	R7-4	要望演題7	肥満手術の現状と課題	11月13日(金)	16:10～16:50	第2会場	6分	2分	－	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の治療成績と持続可能な高度肥満症診療体制の課題
10113	R7-5	要望演題7	肥満手術の現状と課題	11月13日(金)	16:10～16:50	第2会場	6分	2分	－	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の体重リバウンド例における臨床的特徴の検討
10114	O5-4	一般演題5	術後合併症の予測と管理・対策	11月12日(木)	14:35～15:15	第3会場	4分	2分	－	当科で経験したRou-en Y再建術後の輸入脚症候群の2例
10115	SY6-1	シンポジウム6	術後障害対策あらためて考える②	11月13日(金)	14:20～15:00	第1会場	7分	3分	－	食道胃接合部癌に対する下縦隔y-shaped m-SOFY再建法の成績と課題
10116	R1-5	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指して－評価法とアウトカム指標の再構築－・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	高齢胃癌患者での治療戦略としての経腸栄養管理
10117	O8-6	一般演題8	周術期栄養管理・QOL評価	11月12日(木)	17:05～17:45	第3会場	4分	2分	－	SSPPD後食道胃接合部癌に対するロボット支援下残胃温存・逆蠕動性胃管間置再建の1例
10118	R5-8	要望演題5	胃切後再建法の最適解を探る	11月13日(金)	10:50～11:55	第2会場	6分	2分	－	Billroth II法再建後、内ヘルニア3例から考える挙上空腸・横行結腸間膜間隙の予防的閉鎖
10119	O7-4	一般演題7	再建法と吻合技術の工夫	11月12日(木)	17:05～17:45	第2会場	4分	2分	－	腹腔鏡下噴門側胃切除後の食道残胃吻合における再建法別の短中期成績
10120	SY6-4	シンポジウム6	術後障害対策あらためて考える②	11月13日(金)	14:20～15:00	第1会場	7分	3分	－	胃切除術早期体重減少に対する対策：術後早期介入の有効性と長期介入の必要性

登録番号	演題番号	セッション名	セッションテーマ	日にち	時間	会場	発表	質疑	総合討 論	演題名
10121	O4-4	一般演題4	高齢者胃癌・低栄養・予後予測	11月12日(木)	13:55～14:35	第3会場	4分	2分	－	高齢根治切除不能胃癌に対する化学療法＋免疫チェックポイント阻害剤の治療成績
10122	SRD-2	特別セッション： 管理栄養士セッション	胃外科術後を支える栄養管理―管理栄養士からの提言―	11月13日(金)	13:20～14:10	第2会場	6分	2分	－	胃切除術患者の周術期栄養管理を支える多職種連携―管理栄養士の実践と工夫―
10123	SRD-3	特別セッション： 管理栄養士セッション	胃外科術後を支える栄養管理―管理栄養士からの提言―	11月13日(金)	13:20～14:10	第2会場	6分	2分	－	胃切除後GLIM低栄養の改善に関する臨床的特徴の検討
10124	O5-5	一般演題5	術後合併症の予測と管理・対策	11月12日(木)	14:35～15:15	第3会場	4分	2分	－	噴門側胃切除後に生じた難治性吻合部潰瘍に対し、胃体部温存幽門側胃切除が有効であった1例
10125	O4-5	一般演題4	高齢者胃癌・低栄養・予後予測	11月12日(木)	13:55～14:35	第3会場	4分	2分	－	85歳以上の超高齢者に対する胃癌手術を考える
10126	O1-4	一般演題1	ロボット支援手術（導入・アプローチ・成績）	11月12日(木)	11:00～11:30	第3会場	4分	2分	－	当科でのロボット支援下胃切除術の短期成績
10127	R3-7	要望演題3	低侵襲胃切除の新展開 ―ロボット多機種時代における現状と未来―	11月13日(金)	9:00～10:00	第2会場	6分	2分	－	幽門輪温存脾頭十二指腸切除術後に生じた胃癌に対してロボット支援下幽門側胃切除術を施行し得た1例
10128	O7-5	一般演題7	再建法と吻合技術の工夫	11月12日(木)	17:05～17:45	第2会場	4分	2分	－	吻合部の緊張軽減と血流確保を重視した腹腔鏡下Overlap法食道空腸吻合
10129	O6-5	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	原因不明の巨大胃潰瘍穿孔に対し緊急で腹腔鏡下幽門側胃切除を施行し救命し得た1例
10130	O2-5	一般演題2	残胃癌・GIST・特殊手術	11月12日(木)	11:30～12:00	第3会場	4分	2分	－	胃癌に対する胃局所切除術施行症例の検討
10131	R1-6	要望演題1	胃切除後障害の標準化を目指して―評価法とアウトカム指標の再構築―・胃癌手術における周術期管理の最適化	11月12日(木)	11:00～12:05	第2会場	6分	2分	－	噴門側胃切除、食道残胃吻合の術後逆流性食道炎発症のリスク因子について
10132	O6-6	一般演題6	減量代謝手術・医療教育・周術期管理・長期的ケア・在宅栄養・救急/偶発症例	11月12日(木)	15:15～16:00	第3会場	4分	2分	－	胃全摘、脾摘後に腎嚢胞感染した1例
word01	O4-6	一般演題4	高齢者胃癌・低栄養・予後予測	11月12日(木)	13:55～14:35	第3会場	4分	2分	－	高齢胃癌患者における術後合併症の臨床的意義と予後への影響
word02	SRD-6	特別セッション： 管理栄養士セッション	胃外科術後を支える栄養管理―管理栄養士からの提言―	11月13日(金)	13:20～14:10	第2会場	6分	2分	－	